

かめのり大学院留学アジア奨学生
月次報告レポート
(2017年9月)

夏の研修交流会

去年と同じく中国での夏休みが終わったあと、すぐ財団の研修交流会に参加しました。二回目の参加で、去年ほど緊張しなかったです。

一日目は一年生のはじめての発表でした。みなさんはすごく研究熱心で、議論も盛り上がっていました。専門を問わず、分からないことがあったらすぐ質問する後輩たちをみて、自分も「もっと前向きに質問しないとな〜」と思いました。夕食は広島焼の店に行って、やっと本物の広島焼が食べれた。朝からの飛行機を乗って、発表も聴いて、少し疲れましたが、広島焼の作ってるところをみながら、みなさんと話しました。ちょうど行った日はプロ野球の試合があって、地元の人が広島焼を食べながら野球の話をしているところをみて、「広島の人々のカーブ愛が半端じゃないな」と思いました。やっぱり現地で感じた情熱はここに残りますね。

二日目は、いよいよ二年生の研究発表が来ました。考えてみると、毎年の研修会は一年の自分を振り返るいい機会でもあって、一年前の私はどうだったのか、今の私はどんな感じですかなど、いろいろ反省ができます。二回目の発表で、前回よりぜんぜん緊張していなかったです。この意味で、少し成長したかもしれません。そしてはじめての司会で、なんとなく仕切っていました。そして、今回はOBの三人がミニ講義をしてくれました。三人ともその分野の基礎知識や自分の問題関心について紹介してくれました。どうやって自分の研究分野のことをわかりやすく説明するのはいつも私の課題です。今回先輩たちの話をいろいろ聴いて、すごく勉強になりました。

今回の研修会は研究発表以外に、もちろん慣例の人生の「大先輩」の西田さんの講義もありました。財団の仕事のほか、西田さん自身のこともいろいろ話してくれました。研修会で話が終わらないので、残った分はまた食事会で話し、これからの人生など考えさせる話もいろいろありました。

二日の研修が終わり、やっと念願の広島の旅が始まりました。今回の研修地の広島（特に厳島神社）はずっと行きたかった場所であるため、興奮が止まりませんでした。雨も降って、ぜんぜん晴れる兆候がないように見えますが、宮島に向かっている途中から晴れてきて、とてもラッキーでした。もっとラッキーなのは、ちょうどあの日に厳島神社で結婚式を挙げた新婚さんがいて、神前挙式をみることができました。

三日間の研修が終わり、帰る時は渋滞でドキドキしましたが、無事に飛行機に乗れてよかったです（→右は空港で撮った写真です（笑））。

